

## 韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行(中央銀行)が6月2日に公表した2016年第1四半期の経済成長率(改定値)は、季節調整値で前期比0.5%(年率換算2.0%)で、前期の同0.7%を下回った。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同0.1%で前期の同1.3%から低下した。固定資本形成は同1.2%で前期の同▲0.9%からプラスに転じた。その内訳では建設投資は同6.8%で前期の同▲2.4%からプラスに転じた。一方、設備投資は同▲7.4%で前期の同0.5%からマイナスに転じている。外需である財・サービスの輸出は同▲1.1%で前期の同2.1%からマイナスに転じている。

2016年第1四半期の鉱工業生産指数は季節調整値で前期比0.1%となり、前期の同▲0.9%からプラスに転じた。月次では4月に前月比▲0.8%、5月に同1.7%となっている。

2016年第1四半期の失業率は季節調整値で3.8%であった。月次では4月は3.7%、5月は3.7%となっている。

2016年第1四半期の貿易収支は(IMF方式)279億ドルの黒字、月次では4月は96億ドル、5月は107億ドルの黒字である。

2016年第1四半期の対ドル為替レートは1ドル=1201ウォンで、前期の同1157ウォンから減価した。月次では4月に同1147ウォン、5月に同1175ウォン、6月に同1168ウォンと推移している。

2016年第1四半期の消費者物価上昇率は前年同期比1.0%であった。月次では4月に前年同月比1.0%、5月に

同0.8%、6月に同0.8%と推移している。また、2016年第1四半期の生産者物価上昇率は前年同期比▲3.3%であった。月次では4月に前年同月比▲3.0%、5月に同▲3.1%とマイナスで推移している。

### 政府経済見通し下方修正

6月27日、企画財政部は2016年の改定経済見通しを発表した。経済成長率は前回予測の3.1%から2.8%に引き下げられた。需要項目別では設備投資の伸びが前年の5.3%から0.3%に大きく低下すると見込んでいる。成長の減速によって雇用情勢の悪化が予測され、新規就業者数は前年の34万人を下回る30万人前後にとどまる見通しで、リーマンショックの影響を受けた2009年以降、最低となる見込みである。

### 人民元と韓国ウォンの直接取引開始

6月27日、上海の中国外貨取引センター(CFETS)で、人民元とウォンの直接取引が開始された。指定された14行の銀行が取引に参加できる。ウォンが海外で直接取引の対象となるのは今回が初めてである。

### 日中韓FTA第10回首席代表会合

6月27~28日、ソウルで日中韓FTAの第10回首席代表会合が行われた。3カ国は政府調達、林産物、金融、電気通信、人の移動の5分野で作業部会を設けて交渉することに合意した。一方で財の貿易の分野の関税撤廃については、交渉の枠組みの合意には至らなかった。

(ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	15年 4-6月	7-9月	10-12月	16年 1-3月	2016年 4月	5月	6月
実質国内総生産(%)	3.7	2.3	3.0	3.3	2.6	0.4	1.2	0.7	0.5	-	-	-
最終消費支出(%)	2.3	2.2	2.2	2.0	2.4	0.1	1.2	1.3	0.1	-	-	-
固定資本形成(%)	▲1.0	▲0.5	4.2	3.1	3.8	1.0	2.2	▲0.9	1.2	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	6.0	1.3	0.7	0.2	▲0.6	▲0.3	1.7	▲0.9	0.1	▲0.8	1.7	-
失業率(%)	3.4	3.2	3.1	3.5	3.6	3.8	3.6	3.4	3.8	3.7	3.7	-
貿易収支(百万USドル)	29,090	49,406	82,781	88,885	120,290	33,680	30,638	31,756	27,884	9,559	10,738	-
輸出(百万USドル)	587,100	603,509	618,157	613,021	548,838	142,259	135,363	136,777	118,002	40,313	42,426	-
輸入(百万USドル)	558,010	554,103	535,376	524,135	428,548	108,579	104,725	105,021	90,117	30,754	31,688	-
為替レート(ウォン/USドル)	1,108	1,127	1,095	1,053	1,132	1,097	1,169	1,157	1,201	1,147	1,175	1,168
生産者物価(%)	6.7	0.7	▲1.6	▲0.5	▲4.0	▲3.6	▲4.4	▲4.4	▲3.3	▲3.0	▲3.1	-
消費者物価(%)	4.0	2.2	1.3	1.3	0.7	0.5	0.7	1.1	1.0	1.0	0.8	0.8
株価指数(1980.1.4:100)	1,826	1,997	2,011	1,916	1,961	2,074	1,963	1,961	1,996	1,994		

(注)国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準  
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格  
(出所)韓国銀行、統計庁他